

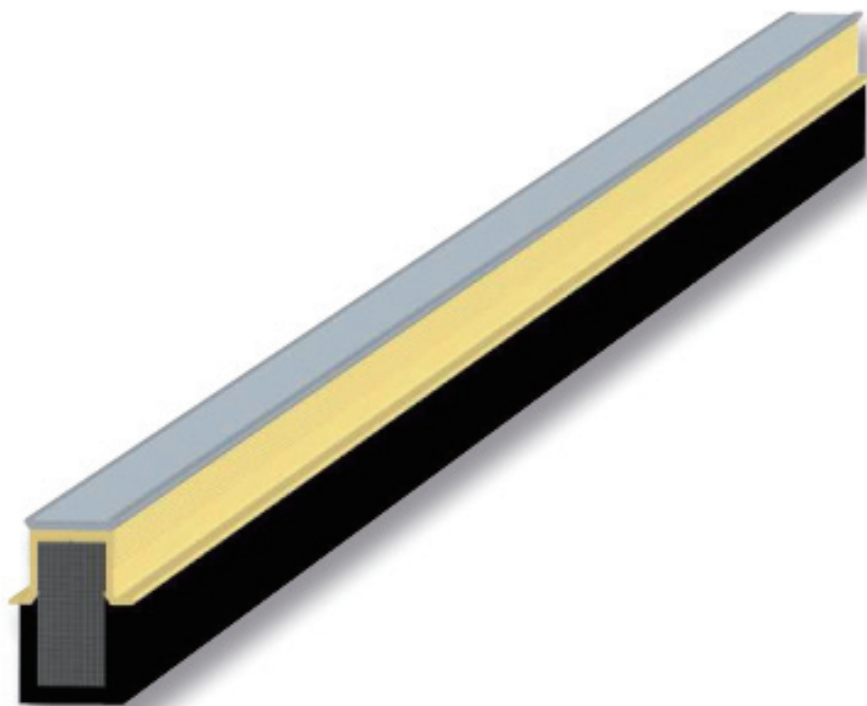
K-B 目地

NETIS HK-040003-VE

平成 26 年度 設計比較対象技術

S-TYPE PAT.

取扱説明書



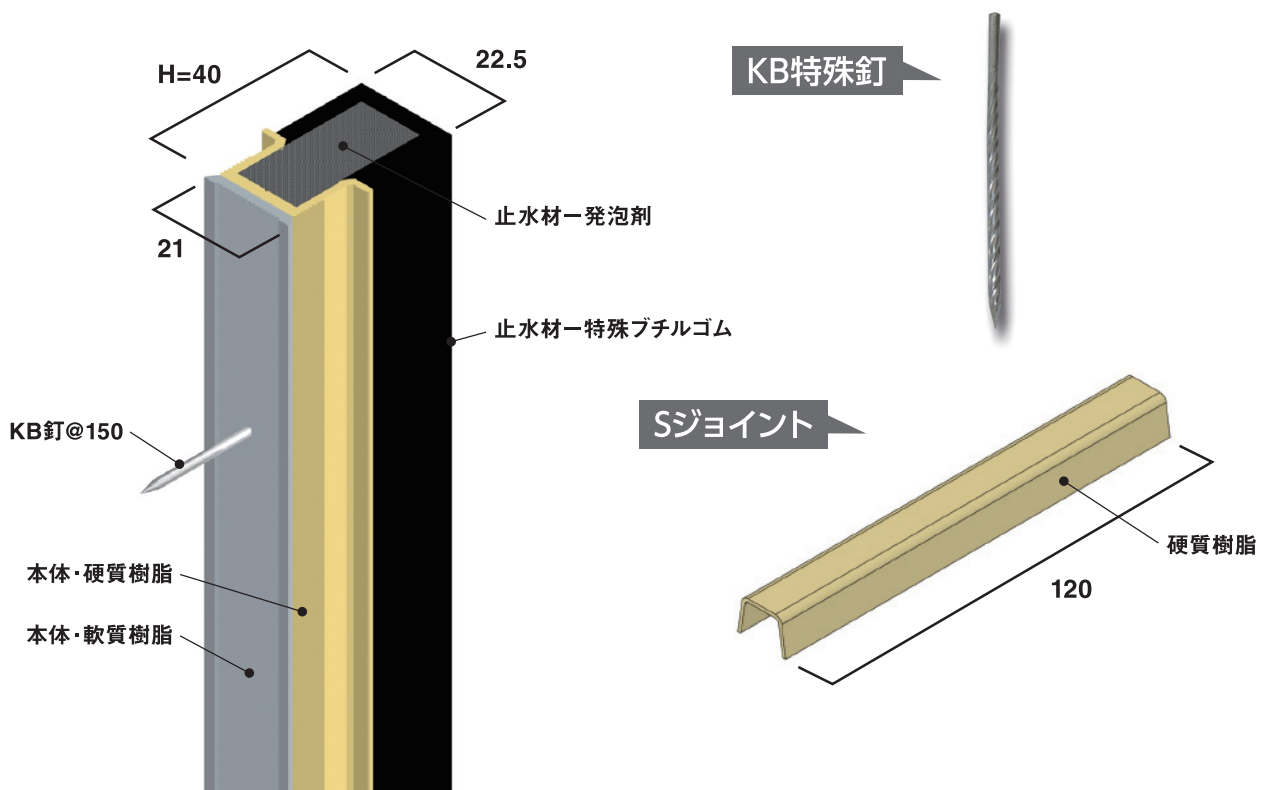
はじめに

- 当製品を使用する前に、必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- 本取扱説明書のなかで、**!** この表示は注意事項が記載されています。これは、特に重要な事項ですので、十分な理解の上で作業をお願いします。

目次

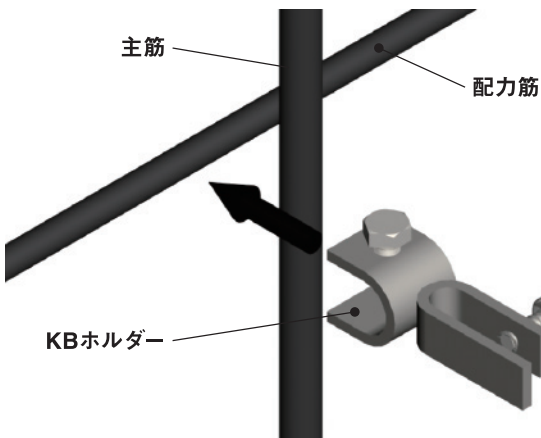
1	誘導鉄板取付	2
2	墨出し	3
3	KB目地取付・壁	4
4	ジョイント処理	6
5	KB目地取付・天端	7
6	打設	8
7	脱型	8
8	完成	9

規格

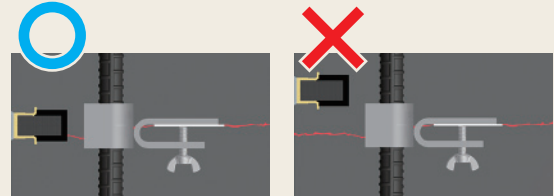


1 誘導鉄板取付

- ① 配力筋に誘導鉄板取付位置を墨出しする
- ② 墨位置にKBホルダーを取り付ける



KB目地と誘導鉄板の位置がズレると、ひび割れ誘発効果を損なう恐れがあります。誤差が無いように（最低でも**KB目地幅内**）墨出しを行なって下さい。



主筋位置をチェック。同位置だった場合は、主筋から左右どちらかに100mm程度移動して下さい。

KBホルダー目安使用数量（誘導鉄板長さ）

～ 750mm以下 2個

751mm以上 ～ 1250mm以下 3個

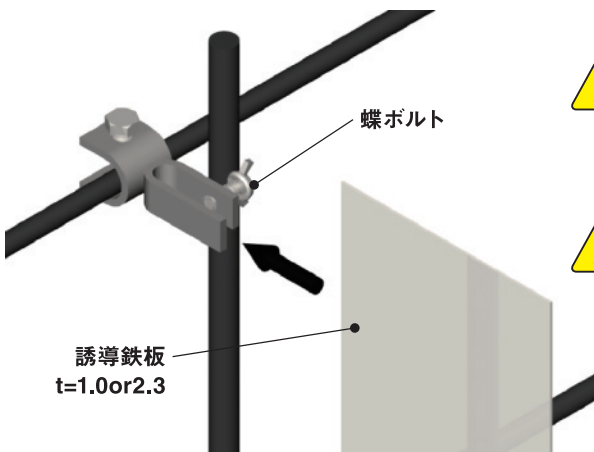
1251mm以上 ～ 1829mm以下 4個

※ 計画内容により異なります。



ブレないようにラチェットなどでガッチリ固定させて下さい。

- ③ KBホルダーに誘導鉄板を取り付ける



蝶ボルトは手で締め込んで下さい

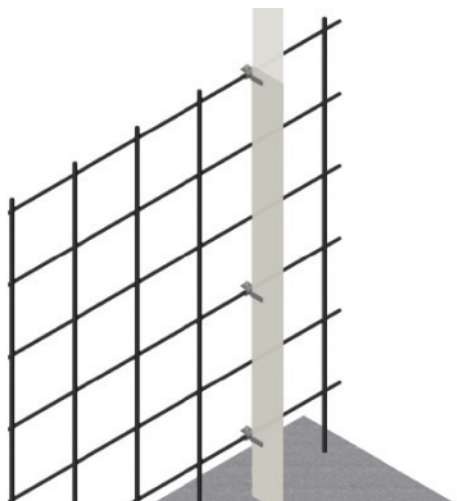


KBホルダー間で誘導鉄板が波打たないように注意しながら取り付けて下さい。

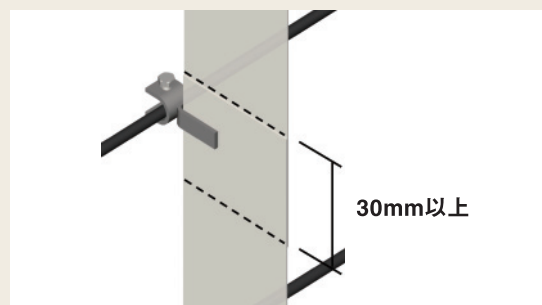


誘導鉄板の切断面によりケガをしないよう、十分に注意して設置して下さい。

④ 次の誘導鉄板を取り付ける



誘導鉄板の重ねは30mm以上として下さい。
出来るだけ、ホルダーが鉄板の端部にくるように
配置下さい。(無理にラップ部に取り付ける
必要はありません)

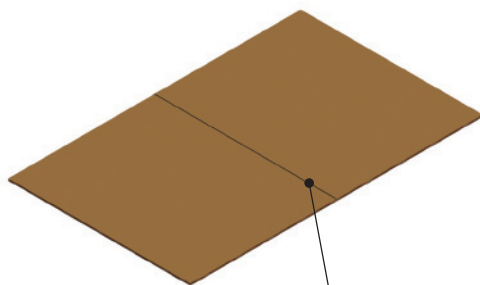


2 墨出し

① 面板を配置する

② KB目地取り付け位置を墨出しする

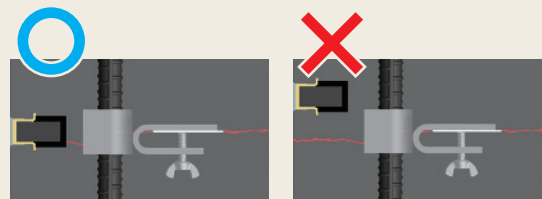
※ 芯から10.5mm逃がすと、目地端部に揃える事が出来ます。



目地位置墨

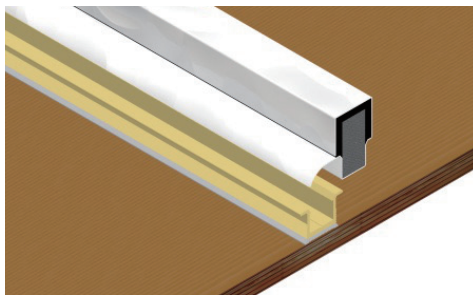


KB目地と誘導鉄板の位置がズレると、ひび
割れ誘発効果を損なう恐れがあります。
誤差が無いように(最低でも**KB目地幅内**)
墨出しを行なって下さい。

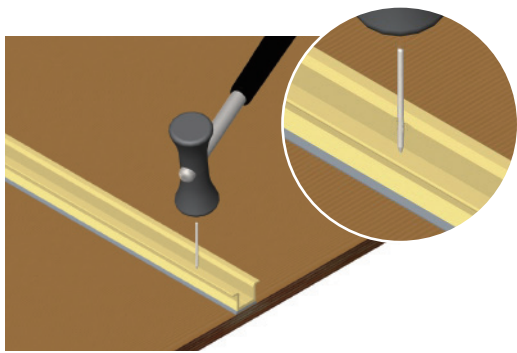


3 KB目地取付・壁

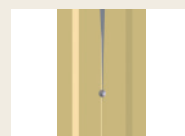
- ① 墨位置に仮置きする
- ② 止水材を取り外す



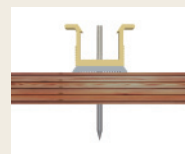
- ③ KB特殊釘を打ち、本体を固定する



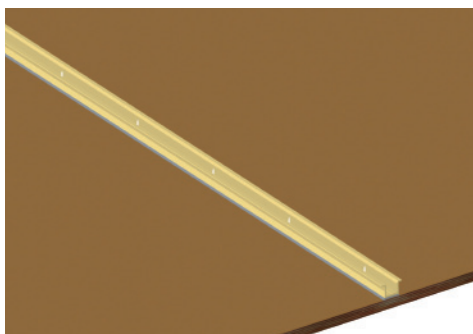
端部は割れる原因となりますので、50mm以上離して釘を打って下さい。



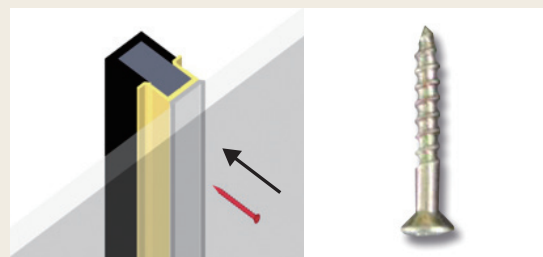
釘は耳部表面程度まで打って下さい。但しハンマーを当て、目地を割らないようにご注意ください。



- ④ 釘のピッチは150mm以内とし、順に固定する。

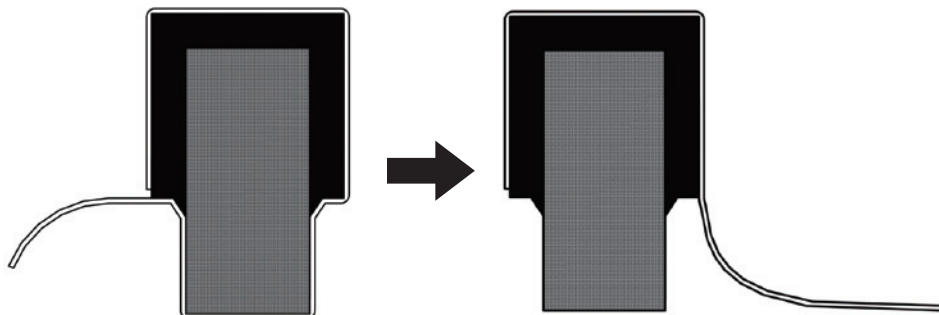


釘固定が困難な場合には、KBビスをご使用下さい。(＠300mm目安)。但し、KB釘に比べ穴が目立つ事をご了承ください。

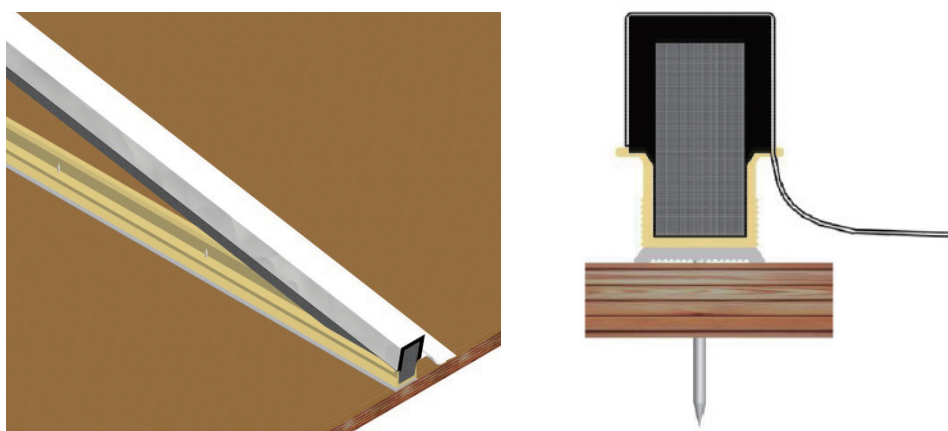


壁高欄など高さのある躯体は、ノロが回り易いので、KBビスをお薦めします。

- ⑤ 一旦、仮置きしていた止水材を取り、離形紙の半分を剥がす。

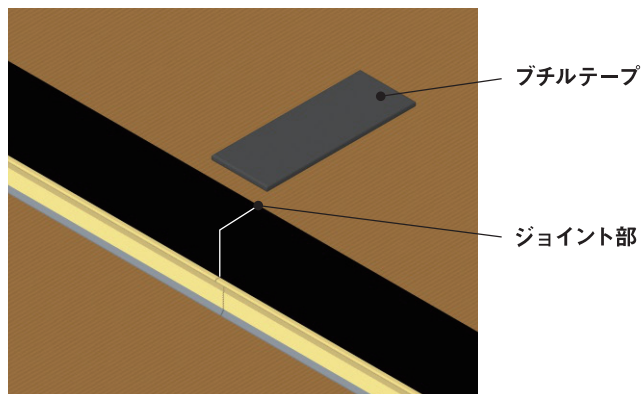


- ⑥ 発泡材側を本体に差し込む。

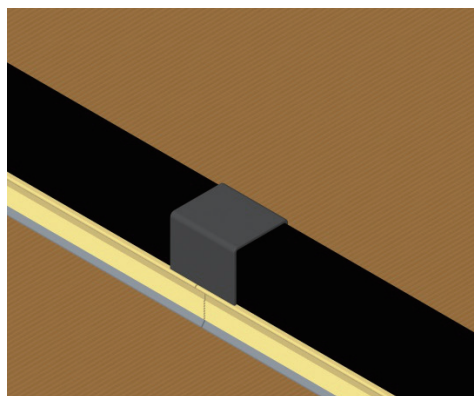


4 ジョイント処理

- ① ブチルテープを適当な長さに切る



-
- ② ジョイント部のブチルゴムを覆うように貼り付ける。

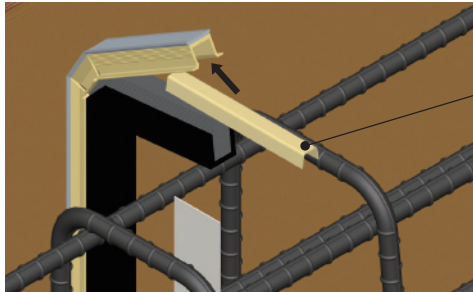


5 KB目地取付・天端

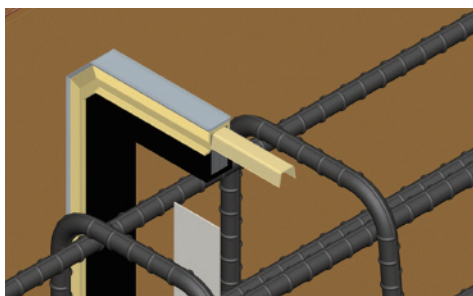
- ① 壁型枠を設置する。
- ② 止水材を若干外し、Sジョイントを本体に挿し込む (約半分)。



Sジョイントは型枠取付時に挿し込んでおいて良いです。



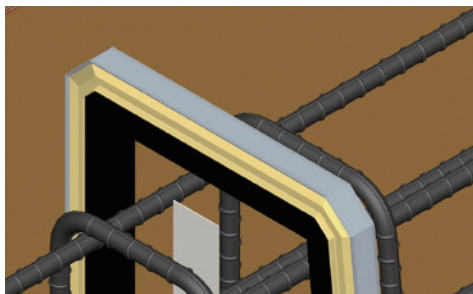
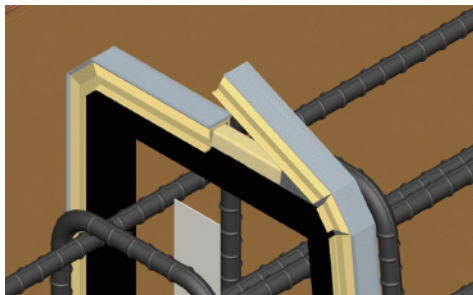
Sジョイント



- ③ 返し壁型枠を設置する。
- ④ 止水材を若干外し、Sジョイントを止水材と本体で挟み込むように取り付ける。



Sジョイントはパチッと音がするまで、挿し込んで下さい。



※ 一部、型枠や離形紙は省略しています。

- ⑤ ブチルテープでジョイント処理を行なう。

※ 「3.ジョイント処理」参照

6 打設

- ① コンクリートを打設する。



極端な片打ちを行なわないように打設して下さい。鉄板が曲がりひび割れ誘発効果を損なう恐れがあります。



目地付近は「ジャンカ」などが出来やすいので、KB目地や誘導鉄板にぶつからないよう注意しながらバイブレーターを使用して下さい。



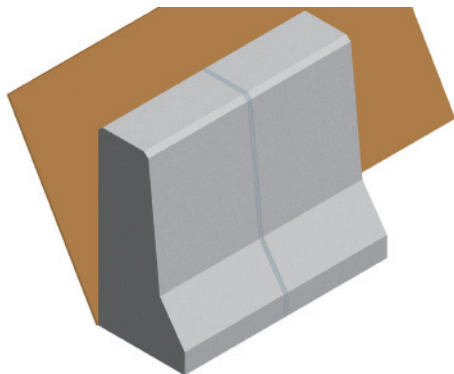
特殊ブチルゴムに付いている離形フィルムは生コン打設直前に剥がして下さい。

7 脱型

- ① 型枠(パイプ類)を解体する。
- ② 面板を取り外す。



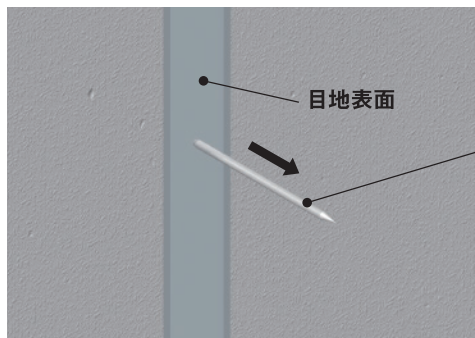
KBビスを使用した場合は、脱型前に、取り外して下さい。



- ③ 目地に残った釘をペンチなどで抜く。



特殊釘は「ひねり」ながら抜くと、抜き易いです。



KB特殊釘

8 完成

